

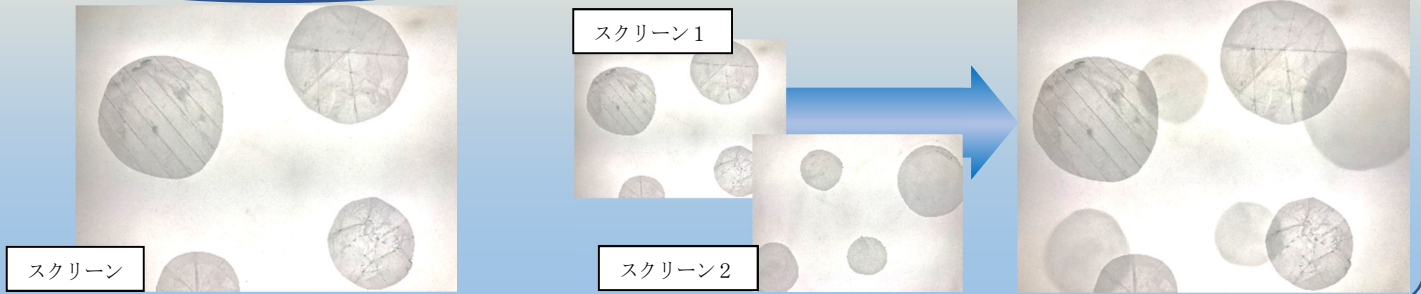
学年	教科等	題材名	日時
第3学年	図画工作科	かさねて ひろがる 世界	平成31年2月1日(金) 2校時
本時における「深い学び」	紙(トレース紙)を重ねることでイメージを広げながら、これまでに獲得した材料や用具とのかかわりを生かして紙の質感を工夫し、スクリーンに映る世界を表現している。		

質感を重視した題材の開発

紙を重ねることで卓上照明のスクリーンに映る世界を表現する「かさねて ひろがる 世界」という題材を開発することで、紙の透過性という質感を中心とした造形的な見方・考え方が働くようにする。

質感を変化させた紙をスクリーンに貼り付け(重ね)て表現する

スクリーンを重ねることで質感を変化させて表現する

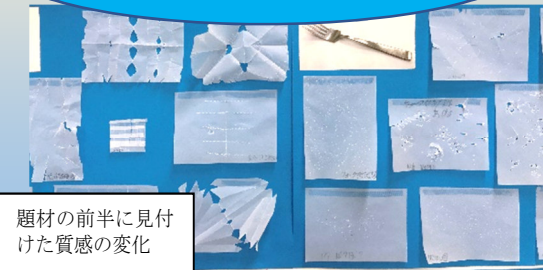


材料や用具とかがわる時間の位置付け

題材の前半や一単位時間のなかに、試す場として用具を用いて紙にいろいろ働きかける時間を設定することで、働きかけ方によって紙の質感が様々に変化することや、正しい用具の使い方について分かるようにする。

題材の前半に紙にいろいろ働きかける時間を設定する

一単位時間のなかに試す場を設定する



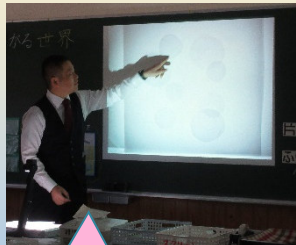
やすりで削ってみるとどうなるかな...

爪で折り目をつけると、きれいな模様になりそうだな...



造形的な視点で対象を捉え、材料や用具を生かして表現するための手立て

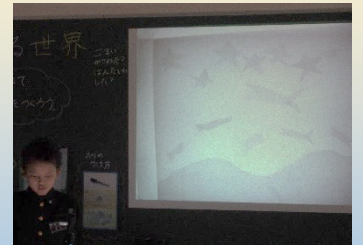
スクリーンを重ねることで生まれる紙の質感の変化が、表現する世界の広がりを生むことに気付かせることで、作品にこだわって表現できるようにする。



後ろのほうがぼんやりと見えて、なんだか奥行きがでてきたみたいです!



どちらのスクリーンに貼り付けたら自分の世界にぴったりかな...



ぼくは、前と後ろのどちらのスクリーンにも星をはりつけて、キラキラとなるように工夫してみました!

授業をふりかえって

- 質感を中心とした題材を開発し、材料や用具とかがわる時間を明確に位置付けたことで、子どもの材料や用具についての知識や技能を入力することができた。
- 材料や用具について入力した知識や技能を、子ども自身に出力したいという思いをもたせるにはどうすればよいか研究していく必要がある。

御意見・御質問はこちら(研究部アドレス)

miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

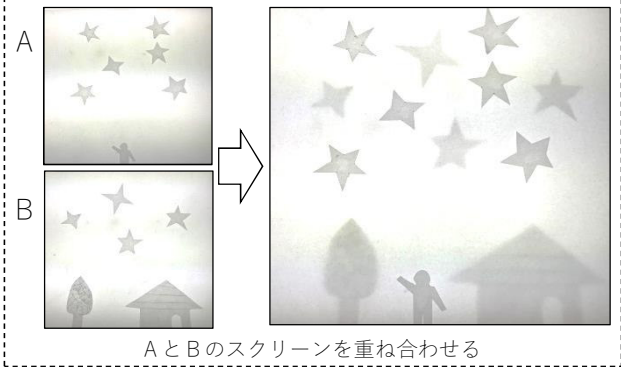
○ 指導計画（6時間）

- (1) 参考作品を見て、活動の見直しをもつ。————— 1時間
- (2) 紙の重なりを生かしてスクリーンをつくる。————— 4時間
- ・ 紙や用具を試しながらつくりたいものを思い付き、スクリーンをつくる。・・・ 2
 - ・ 重ねることで広がる世界をイメージしながら、2層目のスクリーンをつくる。・・・ 2（本時1／2）
- (3) 作品を鑑賞し合い、活動をふりかえる。————— 1時間

○ 本時の目標

スクリーンを重ねることで広がる世界をイメージしながら、紙の質感を工夫して自分だけの世界を表現することができる。

○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
<p>1 本時の学習内容について話し合う。</p> <p>○ スクリーンの重なりによる参考作品の変化</p> <div data-bbox="103 616 726 981" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">  <p style="text-align: center;">AとBのスクリーンを重ね合わせる</p> </div> <p>○ 本時のめあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">スクリーンをかさねて、世界をひろげよう。</div> <p>2 本時の活動について確認する。</p> <p>○ 時間・場・用具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トレース紙、はさみ、カッター、のり 等 <p>3 重ねたときの世界をイメージしながらスクリーンをつくる。</p> <p>○ スクリーンの重ね方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2つのスクリーンをそのまま重ねる。 ・ 2つのスクリーンの間に別のスクリーンを挟み込む。等 <p>○ 重ねることによって広がる作品のイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんの星がきらきらと輝く星空のスクリーン ・ たくさんのクラゲがゆらゆらと漂う深海のスクリーン 等 <p>4 本時の学習をふりかえる。</p> <p>○ スクリーンを重ねることで分かった紙のよさや美しさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はっきり見えるところとぼんやりみえるところが出ておもしろい ・ どのように重ねたら友達のようにうすく見えるようにできるのかなあ 等 	<p>○ 教師が参考作品に新しいスクリーンを重ねて見せることで、スクリーンを重ねることが作品の世界の広がりを生むことに気付くことができるようにする。</p> <p>○ 参考作品を変化させることで変わる見え方を板書で整理することで、作品の世界を広げるために必要な紙の透過性について以下の2点から分かるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スクリーンを重ねることによる見え方の変化 ・ 紙の質感そのものを変化させたときの見え方の変化 <p>○ 紙や用具をまとめて配置したり、試しの場をグループの間に配置したりすることで、集まった子ども同士のかかわりが自然に生まれてくるようにする。</p> <p>○ スクリーンを重ねることで作品のイメージが変化することを捉えにくい子どもには、以下のような手立てを講じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ図柄でも重ね方の違う作品を比較して見せる。 ・ いくつかの参考作品を準備しておき、自由に重ね方を試すことができるようにする。 <p>○ 表現したスクリーンの世界をさらに良くしたい子どもには、以下のような手立てを講じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間の表現から生かせそうなものがないか問いかける。 ・ スクリーンを重ねる順番を変える。 ・ スクリーンを重ねる数を増やす。 <p>○ スクリーンを重ねてみて分かったことや、つくるなかで困ったことを話し合うことで、紙のよさや美しさが分かり、次時の作品づくりに見直しをもつことができるようにする。</p>

○ めざす子どもの姿

つくっていた星空のスクリーンにもう一枚スクリーンを重ねてみたら、星がきらきら輝くように見えてきたぞ。折目で模様を付けたスクリーンを中から重ねてみたらどうなるのかな。よし、次の時間に試してみよう。

【思考・判断・表現】

